入院診療計画書②　鏡視下手術を受ける方へ

ID		新規作成日	2023年9月19日

氏名	

日付							
経過	手術1日前（入院日）	手術当日　術前	手術当日　術後	手術1日後	手術2日後	手術3日後	手術4日後（退院日）
目標	不安の表出ができる	精神的準備ができている	疼痛のコントロールができている				
	手術について理解できる		合併症の症状・所見がない		排便状態に問題がない　治療について理解できる		
	精神的準備ができている			離床ができる	創部に問題がない　ADLの範囲の拡大ができる　日常生活の注意点について理解できる		
			ドレーンに異常がない　排液に問題がない　排尿状態に問題がない				
注射		手術前に点滴２本と抗生剤１本行います	手術後に点滴２本と抗生剤１本行います	点滴２本があります。 終わったら針を抜きます。			
投薬	下剤の内服があります。 持参のお薬を確認します。確認後いつものように内服してください。	内服する薬は、看護師から渡されたものを少量の水で内服してください。		痛み止めの内服が始まります。持参のお薬は、医師か看護師に確認してから再開してください。			
検査				朝に採血があります。		朝に採血があります。	
放射線							
処置	お臍の汚れを除去します。 身長・体重を測定します。 緊急連絡先や既往歴などについて確認します。	朝から点滴を行います。 （8時半予定の場合は手術室で行います）	帰室後は酸素マスクをします。 血栓予防のために間歇的空気圧迫法を行ないます。 手術後1日目の初回歩行まで行います。 手術室で尿道留置カテーテルを挿入します	尿の管を抜きます。 最初の排尿があったら看護師にお知らせください。	回診で創部の確認を行ないます。 腹部に管が入っている場合は抜きます。	退院診察があります。	
食事	22時以降絶食 水・お茶は翌朝6時までとれます。	朝6時まで水・お茶はとれます。	絶飲食	昼から5分粥で食事開始です。 夕から全がゆとなります	朝から米飯が出ます。		
清潔	シャワー浴で体をきれいにしてください。	洗面、歯磨きを済ませてください。		体拭き・着替えを介助しながら行います。	体に管が入っていなければ、全身シャワーができます。管が入っている場合は体拭きをお手伝いします。 お傷はお顔を洗うように優しく泡で洗ってください。感染予防のためにも清潔にする事が一番大切です。		
排泄					術後は腸の動きが弱く便秘しやすいため、水分摂取を心がけ、少しずつ体を動かしましょう。		排便がない場合は下剤や軟便剤が処方される事があります。 退院後も水分摂取を心がけ、少しずつ体を動かしながら、便秘に注意していきましょう。
活動 安静度	病棟内の移動は制限なし（検温や処置の時間は病室にいらしてください。）		ベッド上安静ですが、体の向きを変えることができます。 膝を立てると腰が楽になります。	尿の管を抜いたら病棟内の歩行ができるようになります。少しずつ歩く機会を増やしましょう。	病棟内は自由に歩行できます。 なるべく体を動かしましょう。		
活動 リハビリ	入院中リハビリを行なう予定はありません。						
看護ケア	検温 入院時、就眠前	検温 出棟時	適宜検温	検温 起床時、午前、午後、就眠前		検温 午前、就眠前	
確認事項	①手術同意書　②輸血同意書　③特定生物同意書　④麻酔同意書の４点を確認します。				退院後の注意点について説明いたします。 ①出血（少量の出血は問題ありません）　②38度以上の発熱（風邪以外）③強い腹痛 退院後上記の症状があれば連絡し受診してください。心配な事があれば遠慮なくお伝えください。 退院おめでとうございます。どうぞ、お大事に。		
指導	●病棟オリエンテーションを行ないます。●手術前後の流れを説明します。 ●手術に必要な物品（T字帯、ナプキン、バスタオル、ゆかた、ストローを確認します。●マニキュア、ジェルネイル、まつげエクステは入院前に落としてきてください。 パジャマ　浴衣　タオルはセットのレンタルがあります	手術着に着替えます。 ブラジャーや肌着はつけないでください。 ショーツは履いたままで構いません。髪が長い場合は、飾りのないゴムで束ねてください。 眼鏡やコンタクト、貴金属類を外してください。義歯がある場合も外してください。					10時前後に退院会計の連絡が来ますので、お部屋でお待ちください。 お預かりしているお薬や退院処方は、退院会計が済んでからお渡しいたします。すべてが終了したらネームバンドを切ってもらってからお帰りください。